

事業番号	04 08 11	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高齢者虐待防止事業費				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	介護支援課		
	施策の総合的展開	6-2	いきいきと安心して暮らせる社会づくり		E-mail	<a href="mailto:kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp">kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp</a>		
		1	高齢者福祉の推進		実施期間	H24 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	高齢者虐待の対応窓口である市町村担当職員への研修を通じて虐待の予防や高齢者等へ適切な援助を実施できる体制の整備を目指すとともに、養介護施設従事者等への研修を通じて、施設・事業所における高齢者虐待を無くすことを目指す。		
現状	養護者や養介護施設従事者等による高齢者虐待が依然として後を絶たないことから、早期発見や予防に繋げるため、高齢者虐待の対応窓口である市町村担当職員や養介護施設従事者等への研修が必要である。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律第19、24条	
県民との協働による実施：実施は困難			

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	○高齢者虐待対応の専門的知識を持つ市町村・地域包括支援センター職員数 540人(H25年度見込みから約200人の増加) ○養介護施設従事者等による高齢者虐待件数の減少(H24年度 4件)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
1. 市町村・地域包括支援センター職員実務講習	直接	・高齢者虐待の相談・通報窓口である市町村・地域包括支援センター職員への実務的な講習の実施 (3回:270人) (国補1/2)	116	163	191
2. 介護施設・サービス事業従事者実践講習	直接	・介護施設・介護サービス事業従事者への虐待の予防・早期発見に向けた実践講習の実施 (国補1/2)	347	41	273
		合計	463	204	464

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	460	460	463	464
	補正予算				
	合計(A)	460	460	463	464
	一般財源	231	231	231	232
	県債				
	国庫支出金	229	229	232	232
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	425	282	204	
概算職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
概算人件費	1,652	1,652	1,652	1,652	
概算事業費(B(A)+C)	2,077	1,934	1,856	2,116	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
高齢者虐待対応研修受講者数(累計)	341人	540人	611	達成	750人
養介護施設従事者等虐待件数	2	減少	-		

目標に対する成果の状況	○市町村職員向けの虐待対応研修参加者数(累計)は目標に達成した。また、講師に弁護士・社会福祉士を迎え、法令的な対応も含めより実践的な対応策を学ぶ機会となった。 ○養介護施設従事者等の虐待事例(市町村から県への報告)が認められた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	○長野県における高齢者虐待の件数は依然増加しているため、対応窓口である市町村職員等に対し、引き続き実践的な研修を行っていく。 ○全国的に養介護施設従事者等による虐待件数が増加しており、また、県内での事例報告もあることから関係機関と連携し、介護事業者に対して虐待の予防や早期発見に向けた実践的な講習を行っていく。		